

墨田区議会 Liberal Democratic Party 自由民主党だより

2023 1 Jan.

発行 墨田区議会自由民主党 (墨田区吾妻橋1-23-20)
発行責任者 佐藤 篤 ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページもチェック!

<http://jimin-sumida.jp/> C

卯

本紙上をもって新年のごあいさつとさせていただきます。
あわせて新成人の皆様にお祝い申し上げます。



墨田区議会幹事長
自由民主党
佐藤 篤

新春を寿ぎ、謹んでお慶びを申し上げます。新成人の皆様は心よりお祝い申し上げます。
自民党では任期中達成すべき公約として、①町会・自治会振興条例及び②公契約条例の制定を掲げました。①については、財政支援等について取りまとめ、現在最終段階にあります。また②については、建設産業全体の振興を図り、官公需を地域経済発展につなげる取組みを提案し、条例化に向けて進んでいます。
また、キャッシュレス決済推進、子育て環境のDX化、予防医療の充実等、来たるべく社会課題に先手を打って対応しております。
今後とも結果を出し、次代を切り拓く政策集団として、建設的提案を重ねて参りますので、引き続きのご支援をお願い申し上げます。



坂井ひであき、加藤拓、福田はるみ、しもむら緑、坂井ユカコ、かんだすなお
沖山仁、たきざわ正宜、佐藤篤、田中邦友、藤崎こうき、樋口敏郎

新年おめでとうございます

仕事をしていない!?木内清議長の議員報酬を大幅減額

令和4年9月30日、墨田区議会は、木内清議長の辞職勧告決議を、自民・公明・共産・立憲・民主・新すみだ・無所属の7党派29名(議員の90%)の賛成で可決しました。この間、まったく議長としての職責を果たさない木内清議員に対して、住民監査請求が出されるなど、住民の怒りは沸点に達しています。このたび、更に墨田オンブズマンが加わり、8党派30名により条例を提案し、議長職相当分の報酬(月額約30万円)を削減する条例案が可決されました(田中さとし議員のみ削減に反対)。木内清議長に対しては、引き続き、職務怠慢の現況に対して、辞任を強く求めていきます。



令和5年(卯年)の新春を迎え、今年の「抱負」を漢字一字で表わすと?



福田 はるみ

墨田区立花 3-2-6-302
03-3618-6125

「笑」皆が笑顔になる一年に！スマイルすみだ



樋口 敏郎

墨田区八広 3-6-3
090-6043-3869

「誠」今年も区民のために誠心誠意動きます



沖山 仁

墨田区京島 1-52-11
03-3617-6558

「仁」人への思いやりがあふれる政治を



田中 邦友

墨田区八広 1-39-17
03-3616-7014

「換」煥然一新 新たな区政の進展に向けて



坂井 ユカコ

墨田区東駒形 2-2-4
090-3617-4313

「信」信頼を力にかえて。続く安心、進める力!



しもむら 緑

墨田区亀沢 4-22-8-608
080-2443-0212

「光」明るく希望に満ちた政策を実行していきます!



佐藤 篤

墨田区京島 3-9-10-101
090-8567-8293

「超」党派を超えて区政課題の真実に迫る。



加藤 拓

墨田区緑 1-2-12-501
090-8510-6489

「平」今年も平穏な日常が戻りますように。



かんだ すなお

墨田区立花 5-23-15-506
080-9469-1673

「器」心広く、威風堂々と大道を歩みます!



藤崎 こうき

墨田区向島 5-42-3
080-4354-1602

「感謝」感動・感激「涙の瞬間」を大事にします。



たきざわ 正宜

墨田区墨田 5-34-11
03-5247-5202

「輝」区民・地域が輝くすみだの未来へ!



坂井 ひであき

墨田区石原 3-16-1
090-2654-5478

「快」すみだ区政の心良い施策へ向け!

すみだ自民党議員紹介

墨田区議会自由民主党 お気軽にご意見をお寄せください



代表質問 令和4年度定例会11月議会



田中 邦友 議員

財政基盤の強化について

問 新型コロナウイルス感染症の長期化やウクライナ情勢・円安の影響もあり、今後の景気は予断を許さない。都区財政調整交付金は、今後の減収の可能性も考慮しないとならない。また、公共施設の修繕にかかる経費は今後、非常に大きなものとなる。財政調整基金以外の基金残高は、未だ23区の中で低位にあり、財政基盤強化が強く求められる。

① 財政調整基金を、標準財政規模の30%程度としているが、この目標について区長の認識を伺う。

② 基金の規模は、積立額ではなく歳入歳出予算規模からも適切な比率であるべき。今後のあり方や活用方向性を検討すべき。

③ 「行財政改革実施計画」の新たな目標達成に向け、不断の行財政改革が必要。基本計画に示した政策目標の実現や区民福祉の向上を図る上で、財政基盤の強化への取り組みは不可欠であるが、区長の決意を伺う。

答 ① この目標は、大規模災害等への緊急的対応や経済事情の変動により、

財源不足が生じたでも安定した区政運営が継続できるよう、最低限必要な備えとして定めたもの。この目標額を堅持できるように、財政運営を行っていく。

② 財政調整基金の必要額は、災害規模の想定や社会経済情勢によっても変動する。計画の検討の中で改めて、適正な目標も精査する。

区長が進めるまちづくりについて

問 本年は、地下鉄8号線の延伸決定や東武伊勢崎線鐘ヶ淵駅周辺の鉄道立体の事業候補区間の位置付等、大きな動きがあった。

① 区長は、この動きをどの様に捉え、どの様に活かしていく考えを伺う。

② 来年度からは新基本構想や基本計画の策定に着手と思うが、「まちづくりの将来像や「まちづくりの基本理念」など現時点での考えを伺う。

答 ① それぞれの地域特性を踏まえ、地域住民と共にまちづくりを進めていく。



加藤 拓 議員

日本所警察署跡地の活用について

問 都有地である両国四丁目の日本所警察署跡地を、墨田区が取得した上で、官民連携のPPP等の手法を使い有効活用するべきだ。

平成29年に地域住民から多目的施設の要望があった他、千葉大学・IUによる学会や産学連携のMICE需要などの行政課題の解決につながる。

答 当該地は、立地場所、地形など非常に魅力的な土地であり、区としても地域の課題を解決するための重要な土地であるという認識である。また、区が購入・活用することについては、都との意見交換を続けながら、地域のまちづくりへの貢献の観点も含め、引き続き検討していく。

小学校の学校図書館の放課後開放について

問 放課後の居場所づくり、知識の習得等のために、小学校図書館の放課後開放を進めることを望む。

答 学校図書館の放課後開放には様々な効果がある。課題はあるが、学校図書館の定期的な開放に向けて、各学校等への働きかけを行っていく。



坂井 ユカコ 議員

錦糸町のまちづくりについて

問 豊洲〜住吉間の地下鉄8号線延伸により錦糸町駅周辺は、大きな影響を受けることが予想されることから、錦糸町の今後のまちづくりについて質問した。

① 大都市東京の中での錦糸町の位置付けと、公共交通機関の動線など、錦糸町がさらに多くの人を集めるまちとなることを考えた時の都市基盤を整理すべき。

② 錦糸町の変遷と繁栄の歴史は、他の駅にはない特徴がある。「錦糸町らしい」まちづくり推進のために、まちに関わる方たちで将来ビジョンを、共有すべき。

答 錦糸町は、地下鉄延伸を契機に大きく発展する可能性がある。商業、業務、娯楽機能が高度に集積した東京東部エリアを代表するまちとしてのまちづくりを進めていきたい。

都市基盤の課題（JRとメトロの直接連絡通路、バスターミナルの広さなど）については、課題を整理した上で関係機関と協議したい。長期的なまちづくりを見据え、今後まちに関わる様々な方から意見をいただく場を作りたい。

一般質問

決算特別委員会総括

「ポストコロナを見据えた、“すみだ”の未来につながる予算～持続可能な“すみだ”の実現に向けて～」と位置づけられた令和3年度予算の執行に当たっては、着実な推進が見られた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による景気の変動、ロシアのウクライナ侵略などの社会経済情勢変化により、主要財源である区税や特別区交付金等への影響が想定されることから、より強固な財政基盤の確保に努めるよう求めた。臨時特別給付金の支給や集団ワクチン接種をはじめ地域医療の整備、「暮らし続けたいまち」「訪れたいまち」「シニアプロモーション戦略」「大学のあるまちづくりの推進」の実現を求めた。令和3年度予算執行上の大きな課題として「もっと子育て目線、もっと住民目線、適正な行政執行」の3点を指摘した。



決算特別委員会で意見開陳を行う坂井ひであき委員



坂井ひであき委員、樋口敏郎委員、しもむら緑委員長、佐藤篤委員、坂井ユカコ委員、たきざわ正宜委員

令和5年度予算要望

新型コロナウイルス感染に関する要望

・キャッシュレスポイント還元事業の継続実施をはじめとした区内商店の支援及びこうした取り組みを通して得られたデータの政策立案への活用

重点要望

・複合災害に備えた対策の着実な進展 ・自衛官募集事務における紙媒体、電子媒体での情報提供 ・観光マスタープランに基づく中小企業への支援 ・待機児童対策及び保育施設の適正配置並びに子育てひろばの増設を含めた在宅子育て支援 ・老化した児童館の計画的改修及び更新 ・タブレットの効果的活用による学力向上及び体力向上、不登校対策としてのスモールステップルームの整備拡充 ・土業によるワンストップサービスの実施



執行部で山本区長に要望書を提出

子ども文教委員会



田中邦友 委員、坂井ひであき 副委員長、かんだすなお 委員

中学校内申点

中学3年生にとって、内申点は都立高校受験に向けて重要な意味合いを持っている。教育委員会に対し、学習指導要領に定められている通り、相対評価ではなく絶対評価を厳守して実施するよう校長会への指導を求め、確約を得た。

医療的ケア児の受け入れ態勢

医療的ケア児の受け入れは区立施設が率先して行うべきことは言うまでもないが、私立施設でも受け入れを表明している所に対しては、必要な支援を実施するよう求めた。

地域産業都市委員会



沖山仁 委員、坂井ユカコ 委員長、藤崎こうき 委員

墨田区住宅マスタープランについて

平成29年3月に「墨田区住宅マスタープラン」を策定し、「誰もが安心して快適に住み続けられる、暮らし続けたいまち『すみだ』の実現」を基本理念として掲げた。区の人口は平成29年の25万人台から5年後は28万人弱に増え、計画を遥かに超えた。団塊の世代が後期高齢者になり、医療・介護施設等の不足が懸念される中、課題は多いが、同マスタープランについて、令和5年度から令和14年度までの10年間の計画の見直しを審議する。

区民福祉委員会



福田はるみ 委員、たきざわ正宜 副委員長、加藤拓 委員

新保健施設等複合施設整備について

妊娠・出産から子育て、学齢期に至るまで切れ目ない支援の充実を図るため、母子保健や子育て、教育機関組織の枠を超えた取組「墨田区版ネウボラ」を進めていくとの報告を受けた。また、申込等の手続きが可能となるオンライン化や、DX化を見据えた未来型オフィスとしての執務環境整備の報告を受けた。複数の機能を集約するメリットを活かし、区民利便性向上、福祉の増進に向けて、着実に進めるように求めた。

企画総務委員会



佐藤篤 委員、樋口敏郎 委員長、しもむら緑 委員

賛育会病院の件について

墨田区太平にある社会福祉法人賛育会病院の件について、かねてより建物老朽化等に伴い立花への移転が計画されていたが、今委員会において、太平と立花の2拠点で機能分化する方向であるということが示された。太平は二次救急や周産期医療等も継続、立花は特養ほか総合内科と整形外科などで、医療サービス向上が図られる予定。周辺地域にお住まいの皆様にとっても非常に関心の高い案件のため、丁寧に周知や経緯説明をしていただくよう求めた。

常任委員会TOPICS

